

第 90 回東京ビルメンテナンス政治連盟理事会議事抄録

開催日時 平成 28 年 7 月 5 日（火）午後 4 時 13 分～

開催場所 ビルメンテナンス会館 4 階会議室

審議事項

第 1 号議案 平成 29 年度東京都所有の建築物の維持管理に関する要望について

横田幹事長から、第 1 号議案、平成 29 年度の東京都所有の建築物の維持管理に関する要望案について、次の主旨の提案説明があった。

当業界は人件費の高騰や人手不足という厳しい経営環境にある中、ビルメンテナンス業務発注のガイドラインは、ダンピング受注の排除等を掲げ、東京都においてもガイドラインの趣旨に沿った改革が進められているが、さらに品質重視の入札への改革が必要である。

要望項目（一）： 総合評価制度及び複数年契約の拡充について、技術点重視の方法で総合評価制度の改革が進められているが、さらに適用の拡大や制度改革を求める。具体的には、1 件 5,000 万円以上の案件は全て対象とすること、価格点上限設定の拡大、中小企業も参入できるよう JV での入札参加を認めてほしい、個別の現場見学会を設けてほしい等。

要望項目（二）： 東京都が最低制限価格の導入を明らかにしたことから、具体的には、落札金額を翌年度の予定価格としないこと、予定価格の事前公表をしないこと、入札参加者から積算資料を提出させること、予定価格の 85% 以上で最低制限価格を設定すること等。

要望項目（三）： 契約内容の履行確保のほか、入札参加資格の審査では、納税証明や従事者の保険加入状況資料などの提出を求めること、専門家によるインスペクションの導入などを要望する。

要望項目（四）： 十分な予算措置、予定価格の設定。

要望項目（五）： 障がい者雇用の促進。障害者雇用率を達成している業者を対象とした入札（B 等級限定）について、対象の等級を広げてほしい。

要望項目（六）： 都所有の建築物においてもエコチューニング事業の実施を要望する。

以上、議場はこれを承認した。

なお、先に行われた協会理事会での要望案の審議において議論となった部分については、協会経営研究委員を兼務している理事の意見を聴取し、今後、協会での字句修正に合わせることを確認した。

第 2 号議案 2016 年東京都知事選挙への対応について

鷲見事務局長より、都知事選挙への対応については、参議院議員選挙で方向性が確定していない状況であり、今後自民党都連からの推薦要請を待ち、推薦、支援方法については、三役一任の対応ということでお任せいただきたいという提案があり、議場はこれを承認し

た。

報告事項

(1) 平成 28 年度国の予算・制度等に関する要望の回答について

鷺見事務局長より、国への要望の回答が次のとおりあったことが報告された。なお、中川雅治先生がそれぞれに関わっていただいております。

(1) ガイドライン等について

- ・「ガイドラインを徹底してほしい」： 中川先生のコメント「改正品確法の趣旨が徹底されるよう、党としても努力してまいりたい。」なお、国、地方公共団体、特殊法人で徹底されるようにという要望に対しても、ガイドラインの趣旨が徹底されるよう強く要請し、しっかりとフォローしたい。（こうした団体への通知が参考資料として別途厚生労働省より届いている。）
- ・「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」に示されているにも係らず、指名停止を受けた業者の公表が無い。： 公表しない理由は特になし。国土交通省「その方向で前向きに検討します」と回答あり。

(2) 市場化テスト

- ・「一定の審査に受かったものを価格競争させているではないか？」： 固定・定型化している事業は、一定の入札資格を満たした者の中から最低の価格で入札したものを落札者とする方式を認めている。
- ・「市場化テストの年齢の上限を 60 歳までとしている例があるが、引き上げを検討していただきたい。」： 必要最低限のものであるかどうか確認するよう実施府省等に注意喚起する。

(3) 施設管理業務への「競り下げ方式」入札の導入について

- ・施設管理業務を「競り下げ方式」入札の適用除外としていただきたい。： 施設業務管理に関しては、今はその対象案件となったものは承知していない。中川先生からも、そのような入札はあってはならないので、もしそのように実施する府省庁があれば連絡欲しいとの回答である。

(4) その他

- ・短時間労働者の社会保険適用の拡大に反対に関しては、重く受け止めていると。
- ・最低賃金の年度途中の改定引き上げへの対応に関しては、「私から厚生労働省に対し、関係省庁や地方公共団体に発注時における特段の配慮をするようきちんと要請することを申し入れており、厚生労働省の対応も年々前進してきております」。
- ・障がい者雇用支援の一層の充実についても、前向きの回答であった。
- ・プール監視業務についても要望しているが、周知する、指示する等であった。

(2) 第 24 回参議院議員選挙対応の中間報告について

前回の理事会で確認したとおり、自由民主党の中川雅治先生、宇都隆史先生の応援につ

いては、選挙事務所開き等に訪れ協力しており、また各種団体協議会の23区大会、決起集会にも手伝いに行っている。

また、前回理事会で確認したとおり、公明党の竹谷とし子候補からの推薦依頼に基づき推薦した。

(3) 6月の動きと今後の予定

資料に基づき、6月の動きと今後の予定について報告があった。また7月12日には監査が予定されている旨の報告もあった。

(了)